

名古屋市消防局からのお知らせです!

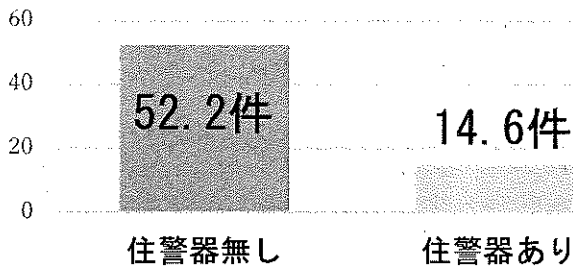
住宅用火災警報器を設置・点検していますか?



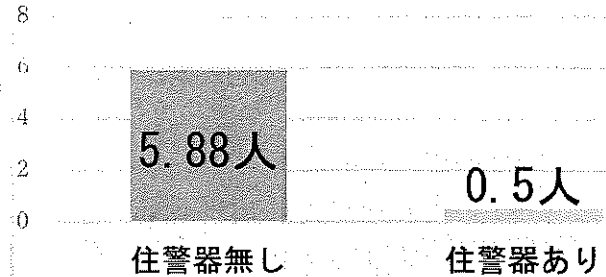
住宅用火災警報器が設置されており、正常に作動したことで、
被害が軽減されています!

※住警器等とは、「住宅用火災警報器」
または「自動火災報知設備」をいいます。

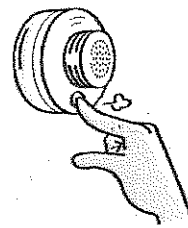
10万世帯当たりの住宅火災件数
(令和4年中)



10万世帯当たりの被害死者数
(令和4年中)



点検方法は簡単!



ボタンを押す



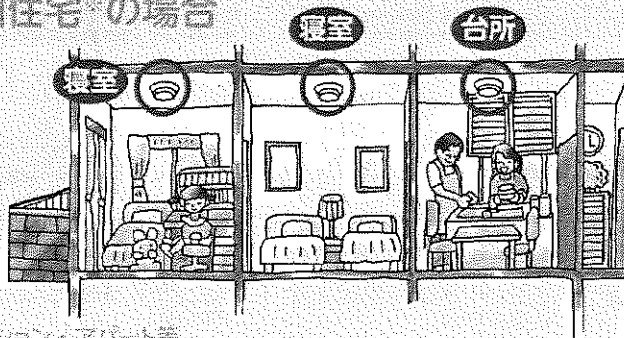
ヒモを引く

音が鳴らない場合は、「電池切れ」か「機器本体の故障」です。

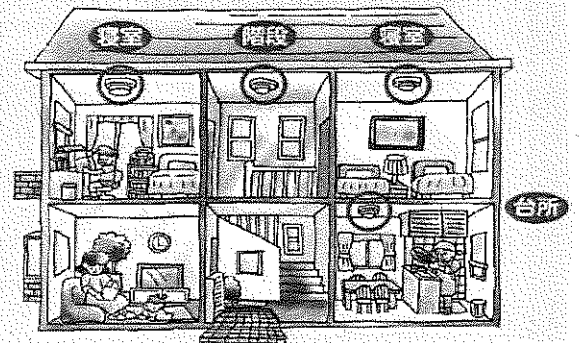
設置から10年を目安に、機器ごと交換しましょう!

設置場所：【台所】 【すべての寝室】 【寝室のある階の階段】

共同住宅の場合



戸建住宅の場合



住宅用火災警報器の設置・点検をよろしくお願ひします。

詳しくは

名古屋市 住宅用火災警報器

検索

名東消防署予防課

TEL:052-703-0119

住宅防火

いのちを守る10のポイント

様々な火災の中でも、特に住宅で発生する火災で多数の死者が出ており、その出火原因はたばこ、ストーブ、こんろ、電気機器など、生活する上で身近にある機器が多くを占めます。

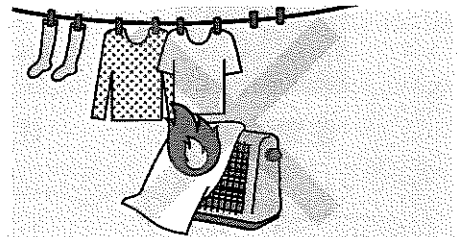
日頃から取り組んでいただく住宅防火対策として、4つの習慣、6つの対策からなる「住宅防火いのちを守る10のポイント」を取りまとめました。

是非、ご家族の皆様で住宅火災からいのちを守るための対策をご確認ください。

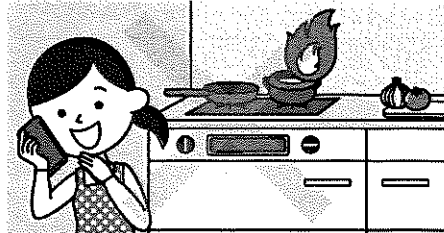
4つの習慣



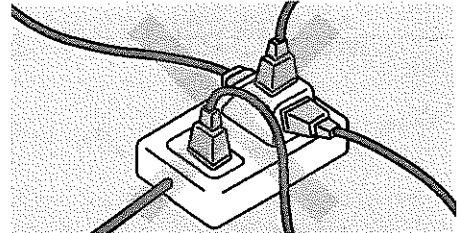
①寝たばこは絶対にしない、させない



②ストーブの周りに燃えやすいものを置かない

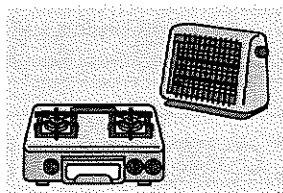


③こんろを使うときは火のそばを離れない

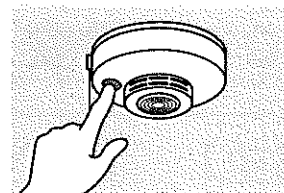


④コンセントはほこりを清掃し、 unnecessary プラグは抜く

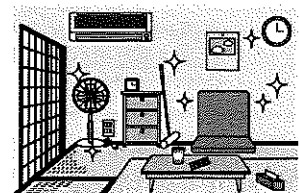
6つの対策



①火災の発生を防ぐために、ストーブやこんろ等は安全装置の付いた機器を使用する



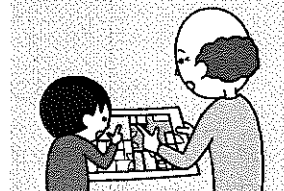
②火災の早期発見のために、住宅用火災警報器を定期的に点検し、10年を目安に交換する



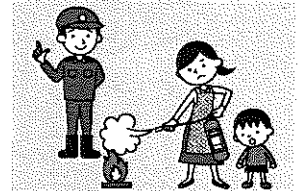
③火災の拡大を防ぐために、部屋を整理整頓し、寝具、衣類及びカーテンは、防炎品を使用する



④火災を小さいうちに消すために、消火器等を設置し、使い方を確認しておく



⑤お年寄りや身体の不自由な人は、避難経路と避難方法を常に確保し、備えておく



⑥防火防災訓練への参加、戸別訪問などにより、地域ぐるみの防火対策を行う